

しちしゃく  
七尺節  
(二揚げ)

わく いとうかし くいかい がい  
杵ぬ糸総に繰返し返し

か うむかじ た  
掛けてい面影ぬまさてい立ちゆさ  
サユウヨンナ

かしか とうじ  
総掛けてい伽や ならんむぬさらみ

くいかい がい うみ  
繰返し返し思どうましゆる  
サユウヨンナ

かしかき  
舞踊「総掛」の一節

総杵と糸総を幾度となく繰ることにより、  
同じ様に愛する人への思いも増していく心情を表しています。

総杵の糸を総に幾度も繰返し掛けていると

あなたのことがいっそう強く思われるのです

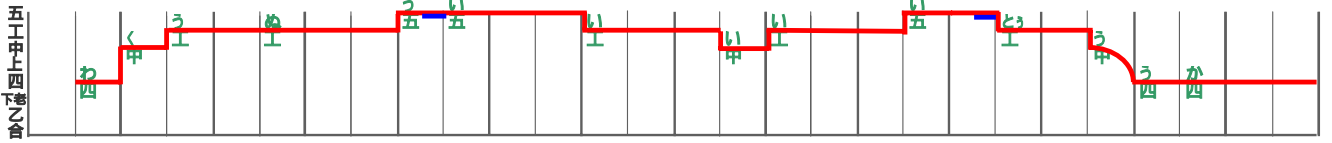
総を掛けていると共寝をすることもできません

(まるでこの総掛のように)  
返し返しあなたのことが思われてなりません

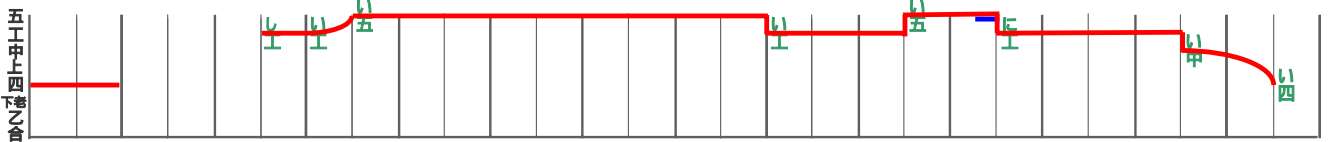
七尺節 (二擧げ) **七 = 七#** 歌:乙下老四上中工五

四 上 工 工 七 四 上

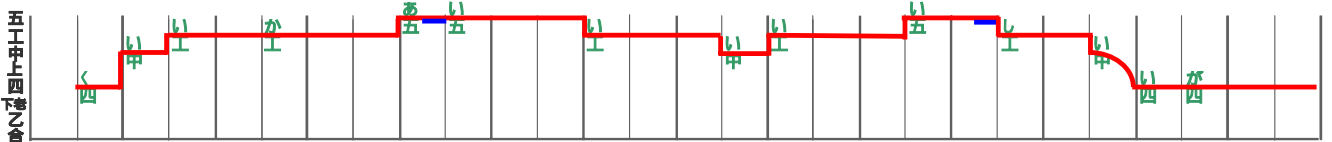
工 わ く う 工 ぬ 七 五 中 工 工 五 工 と 上 工 四 か  
 か し い ぬ あ い き い い い い と 上 う 四 か  
 かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい



四 中 工 五 し 七 五 中 工 五 七 工 五 工 上 工 四 い 四 中  
 しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい  
 しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい



工 く 四 中 工 七 五 中 工 工 五 工 上 工 四 が  
 なら あ かん あん い む 工 工 工 工 工 し 上 工 四 が  
 かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい



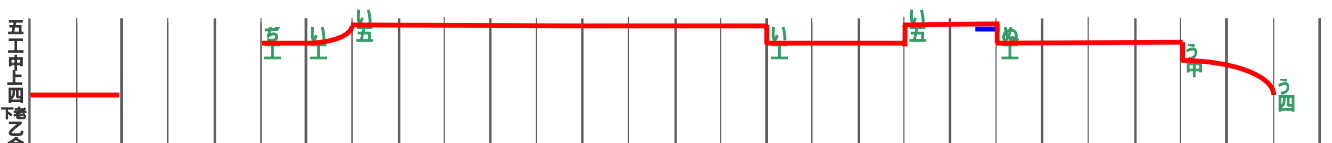
四 中 工 五 いら 七 五 中 工 五 七 工 五 工 上 工 四 い 四 中  
 いら あ あ しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい  
 しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい



工 か 四 中 工 七 五 中 工 工 五 工 上 工 四 が  
 くい い てい 七 五 工 工 工 工 工 工 工 上 工 四 が  
 かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい



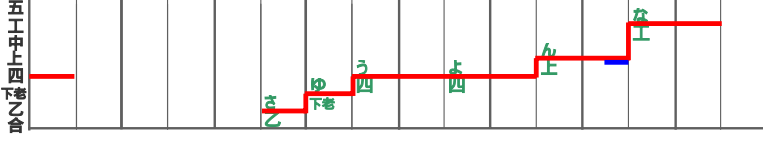
四 中 工 五 ち 七 五 中 工 五 七 工 五 工 上 工 四 う 四 中  
 しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい  
 しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい



工 ま 四 中 工 七 五 中 工 工 五 工 上 工 四 さ  
 う さ み い てい 七 五 中 工 工 工 工 工 工 工 上 工 四 さ  
 かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい



四 七 四 さ 七 四 よ 上 工 四 上 工 工 七 四 上 工  
 さ ゆ う よ ん な しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい  
 しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい しい



2番を唄う時は に戻る。

1. 枠ぬ糸総に繰返し返し  
 掛きてい面影ぬまさてい立ちゆさ サユウオンナ  
 2. 総掛きてい伽や ならんむぬさらみ  
 繰返し返し思どまじゆる サユウオンナ